

1. 都心商業地域における歩行者による回遊行動の実態と要因分析 —神戸市都心部を対象として— ○小谷 通泰(神戸大学大学院)・寺山 一輝	239
2. Wi-Fiパケットデータを用いた観光客の滞在時間特性把握の可能性に関する研究 —奈良県長谷寺参道における試み— ○壇辻 貴生(東京工業大学)・杉下 佳辰・福田 大輔・浅野 光行	247
3. *中心市街地における大規模商業施設の出店による歩行者通行量への影響 ○谷本 翔平(岡山大学大学院)・佐藤 克哉・氏原 岳人・阿部 宏史	255
4. 鉄道駅におけるエスカレータ上の歩行行動に関する研究 ○大竹 哲士(慶應義塾大学大学院)・岸本 達也	263
5. 地域鉄道の廃止と駅周辺における社会経済の変化の関係分析 ○坂本 淳(高知大学)・山岡 俊一	270
6. *トランジットモールを含む市街地における歩行者ゾーンと自動車系街路網の形態に関する研究 —中心市街地の街路網におけるトランジットモールの位置づけ— ○波床 正敏(大阪産業大学)	277
7. *都市景観構成要素としてのLRT停留所デザインの特徴に関する時系列的考察 —欧州33都市での現地実態調査に基づいて— ○ペリー 史子(大阪産業大学)・塚本 直幸	285
8. 密集市街地の民有地を暫定利用する防災空地の評価手法の検討 —神戸市「まちなか防災空地整備事業」を対象として— ○三好 章太(関西電力(株))・嘉名 光市・佐久間 康富	293
9. 世代交代の進展する地区の立地・空間的特性に関する研究 —GBIを用いた東京都市圏における分析— ○中村 智幸((株)アクセンチュア)・松行 美帆子	301
10. 「非日常的行事」の商店街に対する満足度への負の影響に関する研究 —福岡県飯塚市中心商店街に対する学生のアンケート調査の分析— ○長谷川 直樹(近畿大学)・小池 博・太田 壮哉	309
11. 高齢者の外出行動と親世帯・子世帯の近接性に関する研究 —埼玉県坂戸市に居住する高齢者への対面式調査を通して— ○松本 慎(早稲田大学)・後藤 春彦・山村 崇	316
12. ベトナムの社会主義団地のオープンスペースの商業利用実態と住民意識に関する研究 —ハノイ Nguyen Cong Tru KTTを事例に— ○福本 優(兵庫県立人と自然の博物館)・岡 絵理子	323
13. *キーワードからみた都市計画研究の変遷 ○都築 早織(筑波大学大学院)・片山 茜・谷口 守	329
14. 三大都市圏における市街化区域と人口推移から見た都市の類型化とその市街地特性に関する研究 ○山添 光訓(大阪府)・嘉名 光市	336
15. 「クラフト創造都市」金沢における工芸とその関連施策に関する考察 —工芸の変遷と金沢の文化都市政策史との相関に着目して— ○澤田 拳志(北海道大学大学院)	343
16. 戦災と長期接収を経た都市の復興過程に関する研究 —横浜中心部における融資耐火建築群の初期形成— ○藤岡 泰寛(横浜国立大学大学院)	349
17. 明治後期から昭和初期の京浜電気鉄道による羽田穴守海水浴場施設の運営実態及び集客戦略の研究 ○馬場 信行(東京工業大学大学院)	357

18. 西山卯三による観光計画論に関する研究 —1930年代から1960年代までを対象として— ○西川 亮(東京大学大学院)・中島 直人・中林 浩・西村 幸夫	365
19. ミャンマー国ヤンゴンにおける公園成立の歴史的経緯 —植民期、軍事政権期、民政移管期における時代背景と整備意図— ○平野 邦臣(東京大学大学院)・横張 真	373
20. 風力発電施設に関する住民の受容に及ぼす影響要因 ○熊澤 貴之(茨城大学)	381
21. 土浦市街地における高層建築物が周辺低層市街地の冬季の建物熱負荷に及ぼす影響 ○河合 英徳(東京工業大学)・眞鍋 悠太・浅輪 貴史	387
22. *環境配慮街区形成の推進方策に関する研究 —フランスエコカルティエ認証制度と日本における認証事例からの考察— ○西村 愛(国土交通省)・瀬田 史彦	393
23. 東京都区部における私事行動に着目した今日の盛り場に関する研究 —東京都市圏パーソントリップ調査及び事業所内従業員数を用いた「場力」の測定を通じて— ○高山 宇宙(早稲田大学大学院)・中川 義英	399
24. 財政状況からみた持続可能な都市特性の評価に関する研究 大山 雅人(日本IBM(株))・○森本 章倫	407
25. コンパクトシティ政策における複数の計画規範のトレードオフ構造の分析 —最適都市機能配置モデルによる分析— ○磯野 昂士(東北大学大学院)・奥村 誠	413
26. 自治体のラブホテル建築規制条例に基づくラブホテルの立地規制に関する研究 ○阿部 憲太(国土交通省)・姥浦 道生	421
27. 移動販売のサービス水準に着目した店舗選択に関する実証分析 ○谷本 圭志(鳥取大学大学院)・土屋 哲・長曾我部 まどか	429
28. 人口減少時代における中山間地域の居住地としての持続可能性からみた地域類型化 —岐阜県郡上市におけるケーススタディー— ○岩下 和弘(岐阜工業高等専門学校)・鶴田 佳子・坂本 淳	435
29. 瀬戸内海島嶼部における再生可能エネルギーの活用可能性に関する研究 —大崎下島におけるケーススタディー— ○山田 葵(広島大学大学院)・田中 貴宏・芳原 拓実	443
30. *地方都市における市営墓地の需要把握に関する課題 —群馬県前橋市を事例として— ○森田 哲夫(前橋工科大学)・塚田 伸也	451
31. 国土数値情報土地利用細分メッシュデータを用いた人口動態と土地利用変化の関係性 —メッシュ人口密度・メッシュ人口変化率に着目して— ○高柳 誠也(東京大学大学院)	459
32. 居住誘導施策の費用便益分析 —大都市圏郊外部におけるケーススタディー— ○松縄 暢((株)日建設計総合研究所)・藤田 朗	467
33. 下水道整備計画を踏まえた市街地集約に関する一考察 —和歌山市でのケーススタディー— ○櫻井 祥之(和歌山工業高等専門学校)・小川 宏樹・長曾我部 まどか	475
34. 地域冷暖房事業における上下分離方式の導入可能性に関する研究 —分散型エネルギーインフラプロジェクトを対象として— ○春田 文諒(千葉大学大学院)・村木 美貴	481
35. 都市機能維持に向けた蓄電池の面的整備に関する研究 —非常時における電力需要を考慮して— ○渡部 彩乃(千葉大学大学院)・村木 美貴	487

36. 地域特性と目標・評価指標からみた「都市再生整備計画」の類型と傾向分析 ○宋 俊煥(山口大学大学院)・御手洗 潤	494
37. 地域経済振興に係る圏域マネジメント組織と広域行政機構との関係性分析 ーイングランドにおける地域産業パートナーシップ政策と合同行政機構に着目してー ○関 恵子(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))	502
38. *エリアマネジメント組織の団体属性と課題に関する考察 ー全国エリアマネジメントネットワークの会員アンケート調査に基づいてー ○丹羽 由佳理(森記念財団)・園田 康貴・御手洗 潤・保井 美樹・長谷川 隆三・小林 重敬	508
39. 東京大都市圏郊外の中古住宅市場における需給バランス ○鈴木 雅智(東京大学大学院)・浅見 泰司	514
40. 借地権型マンションの敷地の借地期間延長と買取に関する制度と市場整備 ー日本の借地権型マンションの課題に対するイギリスのリースホールド制度の適用の可能性ー ○中城 康彦(明海大学)・齊藤 広子	521
41. 一次通勤圏において高齢単身・夫婦世帯にとってアフォーダブルな住み替え先の供給が進む可能性 ○五十石 俊祐(筑波大学大学院)・石井 儀光	528
42. *グリュナウ団地における団地棟の撤去計画と撤去事業との整合性に関する調査 ー旧東ドイツのライプツィヒのプラッテンバウ団地を事例としてー ○服部 圭郎(明治学院大学)	536
43. オレゴン州ポートランド市の土地利用審査制度における住民参加プロセスに関わる住民組織の役割と活動実態 ーネイバーフッド・アソシエーションを事例としてー ○鶴田 佳子(岐阜工業高等専門学校)・坂本 淳・海道 清信・西芝 雅美	544
44. 自治体レベルで行われる都市づくりの国際的な技術移転に関する研究 ー横浜市による都市間協力事業にみられる実践上の課題ー ○藤岡 麻理子(横浜市立大学)・中西 正彦・鈴木 伸治	552
45. *台北市竜山寺地区における住民と地域の自立の関係性を実現するまちづくり ー社団法人台湾芒草心協会(Homeless Taiwan)の活動による効果に着目してー ○蕭 閔偉(大阪市立大学大学院)・城所 哲夫・瀬田 史彦	560
46. スマートコミュニティ施策への参加が住民の環境配慮行動に与える影響 ーけいはんな実証実験地区を対象としてー ○武田 裕之(大阪大学大学院)・加賀 有津子	568
47. 都市型再開発と連動したエネルギーシステム導入のあり方に関する研究 ー東京都23区を対象としてー ○谷口 広樹(千葉大学大学院)・村木 美貴	576
48. *欧州における観光地域づくりを目的とする組織の活動内容の変遷とその特徴に関する考察 ○高澤 由美(山形大学大学院)	582
49. 地方工業都市における高度経済成長期以降の工業立地と住宅地形成の関係 ○稲葉 美里((株)都市環境研究所)・饗庭 伸	588
50. 都市計画税の課税実態と人口減少期の都市計画事業を考慮した課税手法に関する研究 ○福井 恵莉薫(独立行政法人都市再生機構)・坂村 圭・中井 検裕・沼田 麻美子	594
51. 市街化調整区域と用途地域の擬似的手法としての特定用途制限地域の指定のあり方に関する研究 ○大口 寛貴(玉野総合コンサルタント(株))・松川 寿也・中出 文平・樋口 秀	602
52. 日仏の水害対策のための土地利用・建築規制 ー滋賀県の流域治水条例とフランスのPPRNを事例としてー ○馬場 美智子(兵庫県立大学)・岡井 有佳	610

53. バンクーバー市都心部における容積移転制度を活用した開発手法とその運用 —既存の開発許可プロセスを通じた歴史的建造物容積バンクからのボーナス取得— ○堀 裕典(横浜市立大学)・村山 顕人・小泉 秀樹	617
54. 地区計画制度の成立経緯に関する研究 ○大澤 昭彦(高崎経済大学)・桑田 仁・加藤 仁美・室田 昌子・中西 正彦	624
55. 地区計画策定手続の意義と実態に関する研究 —地区計画創設時の経緯と意図及び全国自治体調査を通して— ○内海 麻利(駒澤大学)・室田 昌子・大澤 昭彦・杉田 早苗	632
56. 歴史的建造物の保全活用を目的とした容積移転負担金制度の導入過程と活用実態 —ニューヨーク市におけるミッドタウン特別地区シアター街区を対象として— ○北崎 朋希(三井不動産アメリカ(株))	640
57. 既存自治組織と併存するコミュニティ自治組織の運営実態に関する研究 —習志野市のコミュニティ政策を事例として— ○青木 和也(千葉工業大学)・鎌田 元弘	646
58. 市民主体のハード整備をともなう公共空間活用の課題と意義 ○杉田 早苗(東京工業大学)・田中 麻理子・土井 良浩	652
59. まちづくりの主体としての大学と自治体との連携のあり方に関する検討 —大阪大学環境イノベーションデザインセンターと吹田市との連携に着目して— ○川人 よし恵(大阪大学大学院)・石塚 裕子・加賀 有津子	660
60. *市民ファンドの寄付プログラムの運営実態と類型化による傾向分析 ○田邊 信男(西部技術コンサルタント(株))・阿部 宏史・氏原 岳人	668
61. 円環内移動及び円環・円盤間移動の直線距離に関する解析的研究 ○長 晃(筑波大学大学院)・石井 儀光・高原 勇・大澤 義明	676
62. 道路斜線制限と天空率緩和がもたらす容積率と建築物高さへの影響 ○渡部 宇子(東京大学大学院)・本間 裕大・本間 健太郎・今井 公太郎	682
63. 住戸数と世帯数に基づく空き家の詳細地域分布の把握手法 ○石河 正寛((独)国立環境研究所)・松橋 啓介・金森 有子・有賀 敏典	689
64. 東京ベイゾーンへのオリンピック観戦客の輸送を想定した直通バスの数理モデル ○田中 健一(慶應義塾大学)・鳥海 重喜・田口 東	696
65. 連続型の無制約型重力モデルの基礎理論 ○栗田 治(慶應義塾大学大学院)	704
66. 東京区部における建物指標と道路指標を考慮した市街地分類に関する研究 ○若林 建吾(筑波大学大学院)・巖 先輔・鈴木 勉	711
67. 格子状交通ネットワークモデルにおける移動経路と流動交差量の分布について ○三浦 英俊(南山大学)・鈴木 勉	717
68. シンガポールにおけるカジノ合法化検討過程に関する研究 ○鶴田 一(東京工業大学)・十代田 朗・津々見 崇	723
69. 地域遺産の選定と特徴に関する研究 ○柿本 佳哉(東京工業大学)・津々見 崇・十代田 朗	731
70. 広島市における夏季の気温・湿度分布推定および冷房負荷の分布特性に関する研究 —メソ気象モデルWRFを用いた検討— ○大田 修平(広島大学大学院)・松尾 薫・横山 真・佐々木 唯・田中 貴宏	739

71. *保育施設による公園活用とパークマネジメントの可能性と課題についての一考察 —横浜市における都市公園内保育所等の設置に関する国家戦略特区を契機とした研究会活動を通して— ○三輪 律江(横浜市立大学)・木下 勇・中西 正彦	747
72. *いわき市を対象とした東日本大震災前後の小中学生にみる遊びと公園利用の変化について ○齊藤 充弘(福島工業高校専門学校)	754
73. 近代化産業遺産の集散的保存における「認定外遺産要素」の位置付けと価値 —足尾銅山関連遺産を代表事例として— ○林 廷玖(早稲田大学)・後藤 春彦・山村 崇	762
74. 郊外間交通へのシェア型自動運転車の導入可能性 —トリップの時空間特性・個人属性の観点から— ○香月 秀仁(筑波大学大学院)・東 達志・谷口 守	769
75. インドネシア地方中規模都市におけるアンコットの实走行燃料消費に関する研究 ○澤田 進太郎(森ビル(株))・室町 泰徳	776
76. 観光地における事前予約制駐車場利用に対する料金支払意思額の特性分析 —高尾山地区における観光地マネジメント構想をサポートする駐車場マネジメントシステムの実現に向けて— ○清水 哲夫(首都大学東京)・川原 晋・片桐 由希子	782
77. 事業説明会における応答が聞き手の評価に与える言語的影響の分析 ○寺部 慎太郎(東京理科大学)	788
78. タクシー運賃の割引率が高齢者の外出行動へ与える影響に関する研究 —秋田交通圏のタクシー利用者を対象として— ○鈴木 雄(秋田大学大学院)・日野 智・前田 悠抄	795
79. 包絡分析法を用いた地域公共交通需要の顕在化率に関する動的評価 ○吉野 大介(復建調査設計(株))・羽藤 英二	802
80. 多目的最適化に基づく歩行者の活動ネットワークデザイン 大山 雄己(東京工業大学)・○羽藤 英二	810
81. 利用実態と住民意識からみた住民主体の地域公共交通が果たす役割 —高齢者の活動しやすさに制約のある地域に着目して— ○西堀 泰英((公財)豊田都市交通研究所)・土井 勉・安東 直紀	818
82. 通学利用の確保に資する効果的なモビリティ・マネジメントの実施に関する研究 —高校生を対象とした弘南鉄道大鰐線における利用促進方策を事例として— ○大野 悠貴(弘前大学大学院)・北原 啓司	825
83. 大都市圏向け統合モビリティサービスMetro-MaaSの提案と需要評価 —自動運転車によるオンデマンドバスと既存公共交通の将来的な統合を目指して— ○藤垣 洋平(東京大学大学院)・高見 淳史・Troncoso Parady Giancarlos・原田 昇	833
84. 公共交通運賃割引施策と高齢者の歩数ならびに外出先との関連性分析 ○鎌田 佑太郎(京都大学大学院)・松中 亮治・大庭 哲治・中川 大	841
85. 居住地区のアクセシビリティと個人の運動頻度・健康・生活満足度の関係性に関する基礎分析 ○佐々木 邦明(山梨大学大学院)	849
86. 出張者の自由時間における活動・消費行動の特性 —北関東3都市への出張をケーススタディとして— 近藤 雄太(福島県)・○大森 宣暁・長田 哲平	856
87. 保育所を利用する共働き世帯のスケジュール制約と実行動 —東京都市圏と宇都宮都市圏での調査から— ○有賀 敏典((国研)国立環境研究所)・青野 貞康・大森 宣暁	863
88. 活動格差の実態と今後の活動喚起に向けた一考察 —外出活動・自宅内の活動に着目して— ○平間 尚夏(筑波大学大学院)・森 英高・谷口 守	871

89. 通学路における小学生のアクティビティの発生傾向とその要因の検討 ○吉城 秀治(福岡大学)・辰巳 浩・堤 香代子	879
90. 全国京都会議の加盟自治体による「小京都」を用いた地域ブランディングの変遷に関する研究 ○小林 良樹(東京工業大学)・十代田 朗・津々見 崇	887
91. 東京医学校本郷移転再考 ―東京大学本郷キャンパス成立に関する研究 萌芽期― ○森 朋子(東京大学)	895
92. *吉田初三郎鳥瞰図に描かれた北海道開発と自治体の取り組みに関する考察 ―石狩川水系と岩見沢市を例にして― ○鈴木 栄基(岩見沢市教育委員会)	901
93. 外地都市計画法令の比較研究 ○五島 寧(横浜市)	907
94. 「タウン・プランニング」再考:イギリスの都市計画家は建築的アプローチを捨てたか? ○秋本 福雄(九州大学)	915
95. 地方都市における大型小売店の撤退とその跡地利用に関する研究 ○川嶋 祥之(東北大学大学院)・姥浦 道生	921
96. *西豪州パース都市圏での官民連携による衛星都市開発に関する一考察 ―民間提案型St. Andrews Projectにおける官民連携の組成プロセス― ○池田 明仁(東京都市大学)	929
97. 大都市インナーシティのジェントリフィケーションへの都市計画的対応の可能性と課題に関する研究 ―ドイツのハンブルク市における建設法典第172条の運用実態に注目して― ○太田 尚孝(兵庫県立大学)	937
98. 歴史都市アレppoにおける1973年の旧市街空間整備計画 ○松原 康介(筑波大学)	945
99. 戦後復興期における都市計画研究者の組織化と研究課題の動向 ―都市計画研究連絡会の活動に着目して― ○中島 直人(東京大学大学院)	953
100. 地方都市における公共施設統廃合の実態と計画的施設再配置への適合に関する研究 浅野 純一郎(豊橋技術科学大学)・○時田 諭成	961
101. *空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく空家対策の取り組み ―千葉県松戸市を事例として― ○秋田 典子(千葉大学大学院)	969
102. エイジフレンドリーシティ行動計画の特徴と意義 ―秋田県秋田市のエイジフレンドリーシティ行動計画策定プロセスのケーススタディー― ○後藤 純(東京大学高齢社会総合研究機構)・大方 潤一郎	975
103. 地方都市の容積低充足市街地再開発事業の成立要因に関する研究 ○永井 真生(東京工業大学)・中井 検裕・沼田 麻美子	983
104. *組織の活動記録を用いた地域運営組織の活動評価に関する研究 ○長曾我部 まどか(鳥取大学)・谷本 圭志・土屋 哲	991
105. まちづくり組織間の連携にもとづく地域運営組織の実態とその課題に関する研究 ―神戸市を事例として― ○水野 優子(武庫川女子大学)・栗山 尚子・三輪 康一・末包 伸吾・安田 丑作	998
106. 居住エリアのウォークビリティに立脚した地域評価に関する指標の開発と検証 ―北大阪都市計画区域の茨木市におけるスマートシュリンキングに向けて― ○加登 遼(京都大学)・神吉 紀世子	1006

107. 地方都市中心部における小規模住宅団地による居住空間の再構築に関する研究 —金沢市「まちなか住宅団地整備費補助金」を対象として— ○福岡 敏成(福井市)・野嶋 慎二	1014
108. 地方都市での勤労単身世帯の居住実態とまちなか居住の可能性に関する研究 ○西山 徳((株)第四銀行)・樋口 秀・中出 文平・松川 寿也	1022
109. “住宅地のつくられ方”からみた撤退パターンのモデル化 —岡山市の311地区の統計分析に基づいて— ○和氣 悠(岡山大学大学院)・氏原 岳人・阿部 宏史	1029
110. 大都市圏郊外都市における地域コミュニティ関与による空き地マネジメントの可能性に関する研究 —横須賀市縮減市街地におけるケーススタディを通して— ○吉武 俊一郎(横浜国立大学大学院)・淵井 達也・高見沢 実	1036
111. 東日本大震災の被災地域における開発許可動向に関する研究 山梨 裕太(東北大学大学院)・○姥浦 道生	1044
112. 地震後の避難者の帰宅要因分析 —2016年熊本地震を対象にして— ○柿本 竜治(熊本大学大学院)・吉田 護	1052
113. 大規模災害時における再開発地区の防災性能と災害時連携に関する研究 —多用途が複合する江東区豊洲2・3丁目再開発地区を対象として— ○黒木 貴光(西日本鉄道(株))・佐藤 宏亮	1060
114. 東日本大震災の津波被害における復興市街地整備事業が商店街再建に及ぼした影響に関する一考察 —気仙沼市鹿折地区かもめ通り商店街の事例から— ○磯田 芳枝(工学院大学)・野澤 康	1066
115. 新宿ゴールデン街における新旧店舗の混在とその更新の実態に関する研究 —店舗更新時の旧店主からのアドバイスに着目して— ○下山 萌子(早稲田大学)・後藤 春彦・馬場 健誠	1074
116. 熊本地震のつぶやきに見る感情極性値の時空間解析 ○横田 尚己(筑波大学大学院)・山田 圭二郎	1081
117. 津波被災地において復興土地区画整理事業が住民の居住地選択に与えた影響 —岩手県釜石市A地区を事例として— ○荒木 笙子(千葉大学大学院)・秋田 典子	1088
118. *熊本地震の復興初期における益城町仮設住宅入居者の居住地選択意向 ○渡邊 萌(熊本大学)・佐藤 嘉洋・円山 琢也	1094
119. 中越沖地震後の柏崎市中心市街地の復興状況と土地・建物権利との関係 ○森 千脩((株)日立ビルシステム)・樋口 秀・中出 文平・松川 寿也	1101
120. 行政間の土地利用規制格差に着目した開発許可条例による格差解消手法に関する一考察 —和歌山市及び甲府市の市街化調整区域とその隣接市を対象として— ○松川 寿也(長岡技術科学大学大学院)・丸岡 陽・中出 文平・樋口 秀	1108
121. 人口減少下での今後の都市計画区域のあり方に関する研究 ○稲越 誠(八千代エンジニアリング(株))・松川 寿也・中出 文平・樋口 秀	1116
122. 立地適正化計画に基づく居住誘導施策検討のための都市内人口分布推計手法の開発 —愛知県豊橋市を対象として— ○竹間 美夏(千葉工業大学)・佐藤 徹治	1124
123. コンパクトシティ政策に対する記述と評価の乖離実態 —都市計画マスタープランに着目して— ○越川 知紘(筑波大学大学院)・森本 瑛士・谷口 守	1130

124. 自治体担当者の認識に着目した公共施設の維持管理に関する研究 ――都三県を対象として― ○長岡 篤(麗澤大学)・持木 克之・籠 義樹	1137
125. 公共用地の減少に着目した大街区化の実態に関する研究 ―市街地再開発事業を主対象として― ○伊藤 謙(森トラスト(株))・中井 検裕・沼田 麻美子	1143
126. 高齢社会における地形条件を考慮した公共施設整備のあり方に関する研究 ○縄田 拓哉(千葉大学大学院)・村木 美貴	1150
127. 原子力発電所立地地域における廃炉後の地域再生支援の課題 ―イギリスとの比較から― ○乾 康代(茨城大学)	1156
128. 津波常習地域における復興と平時の空間変容の関係についての研究 ―昭和三陸津波後に集団移転した集落の東日本大震災までの変容とその後の復興に着目して― ○萩原 拓也(東京大学)・窪田 亜矢	1163
129. *景観の公益に対する再生可能エネルギーの公益との調整にみる計画課題 ―四万十川の文化的景観保全における大規模太陽光発電施設計画への対応を事例として― ○小浦 久子(神戸芸術工科大学)・秋月 裕子	1171
130. 都市近郊における村落単位でみた農業基盤と祭事運営基盤の変容の関係 ―埼玉県三郷市を事例として― ○渋谷 健太(早稲田大学)・後藤 春彦・森田 棕也・山崎 義人	1177
131. 気候変動適応に向けたインフラ計画の展開プロセスと実行支援に関する研究 ―デンマーク王国コペンハーゲン市のクラウドバーストプランを事例として― ○中島 直弥((株)日建設シビル)・星野 裕司	1185
132. 条里制集落居住域における中世から継承された「文化的景観」の特徴 ―安曇川沖積平野(木津荘、滋賀県)を対象として― ○小谷 裕枝(滋賀県立大学大学院)	1191
133. パチンコ店の立地規制に関する条例の策定状況と規制内容 ―京阪神都市圏の自治体を中心として― ○沢畑 敏洋(新潟大学大学院)・松井 大輔	1199
134. 住民団体と地域遺産制度への取り組みの関係 ―岩手県遠野市遠野遺産認定制度を事例として― ○山川 志典(筑波大学大学院)・伊藤 弘	1206
135. 無電柱化が地価に及ぼす影響の要因分析 ―韓国の江原道春川市孝子洞大成路一帯を対象として― ○朴 鏞元(大阪大学大学院)・張 喜淳・横田 隆司	1212
136. ベトナム・ハノイ旧市街の町並み保全の仕組み・取組の変遷に関する研究 ―動的な無形要素のとらえ方の発展に着目して― ○柏原 沙織(東京大学大学院)・藤岡 麻理子・鈴木 伸治・窪田 亜矢・西村 幸夫	1218
137. 店舗へのコンバージョンが歴史的市街地の保全と活性化に与える影響 ―中国・武漢市タンファリン歴史的街区を事例に― ○松本 邦彦(大阪大学大学院)・澤木 昌典	1226
138. 管理作業量と景観選好性を指標とした二次林管理計画に関する研究 ―名古屋市長東区藤巻町を対象として― ○高取 千佳(名古屋大学大学院)・長谷川 泰洋・藤原 望・清水 裕之・宮脇 勝	1232
139. ボランティア・ツーリスト団体がイベント開催地域との協働で果たす役割の時系列変化に関する研究 ―「小樽雪あかりの路」における韓国人ボランティア団の事例をもとに― ○依田 真美(相模女子大学)	1240
140. 緑の基本計画の計画項目の構造についての計画論的考察 ○根岸 勇太(中央大学)・石川 幹子	1248

141. 民有地緑化誘導における協議調整プロセスの実態と課題 —東京都「公開空地等のみどりづくり指針」に基づく協議を事例に— ○瀬島 由実加(東日本旅客鉄道(株))・村上 暁信・有田 智一	1256
142. 高速道路休憩施設への立寄行動パターンのマーケット・セグメンテーションモデルの構築 —潜在クラス分析の中国道データへの適用を通じて— ○西井 和夫(流通科学大学)・古屋 秀樹・佐々木 邦明	1262
143. 都市環境はいかにシビックプライドを高めるか —今治市を事例とした実証分析— ○伊藤 香織(東京理科大学)	1268
144. 歩行者の位置と視線を反映した並木の緑視率 —球体モデルに基づく立体角の計算方法— ○平澤 雄基(慶應義塾大学大学院)・鶴飼 孝盛・栗田 治	1276
145. 需要密度・移動距離に着目した多様な公共交通システムの優位性に関する理論的考察 ○長谷川 大輔(筑波大学大学院)・鈴木 勉	1284
146. 小地域単位での住環境得点による人口増加の再現性検証と改良の試み —東京圏1都3県の都市地域における国勢調査小地域集計を用いて— ○相 尚寿(東京大学)	1290
147. 居住環境と利便性を考慮した住宅地への用途混在に対する居住者の評価 ○石川 徹(東京大学大学院)・浅見 泰司	1298
148. 高齢者の社会参加による社会的効果 —財政・介護労働力の観点に着目して— ○金 洪稷(東京大学大学院)・樋野 公宏・浅見 泰司	1304
149. 建物周り建ぺい率による密集領域の抽出～基盤地図情報を活用して ○奥貫 圭一(名古屋大学大学院)	1312
150. 交通状況による遅延を考慮し円滑な乗換を保証するバス時刻表の設計 —静岡県富士市の公共交通設計への最適化技術の活用— 田中 健裕((株)リコー)・○高松 瑞代・菅原 宏明・田口 東	1320
151. 円盤領域におけるn方向距離分布 ○鶴飼 孝盛(慶應義塾大学)・鳥海 重喜	1327
152. 扇形内・扇形間における直線移動の距離とその応用 ○堀 龍一(筑波大学)・小林 隆史・高原 勇・大澤 義明	1335
153. 東京オリンピック・メインスタジアムへの観戦客に対する新宿御苑を活用した動線計画 —時間拡大ネットワークを用いた徒歩流動モデルによる評価— ○渡部 大輔(東京海洋大学大学院)・鳥海 重喜・田口 東	1341
154. ローレンツ曲線に着目した公平な施設配置のための最適化モデル —ジニ係数とは異なる指標を用いて— ○古田 壮宏(奈良教育大学)・田中 健一	1349
155. 空間的土地利用混合度指標を用いた住宅地地価分析による土地利用パターンの評価 ○巖 先鏞(筑波大学大学院)・鈴木 勉	1356
156. カンボジア・アンコール遺跡群の来訪者行動・評価特性に関する研究 ○POK SOVANNA(東洋大学大学院)・古屋 秀樹	1364

題目の前に「*」が付いている論文は、13分野(計画・デザイン・事業に関する論説、事例報告、調査報告)として提出、審査されたものである。